ASAのコミュニケーションペーパー あさのポケット おださが・東林版
あさポケは、がんばる“あなた”を応援します!
毎月第2日曜日発行
発行所　(有)イワサキ
ＡＳＡ相模原みなみ ☎042-743-0398(代)
■あさのポケット編集室
〒228-0813　相模原市松が枝町７－４
TEL/FAX０４２－７０２－０６６８
E-mail：asapoke@mtg.biglobe.ne.jp
2月号　2010年(平成22年)
2月14日(日)　No.109
ホームページも公開中　http://www.asapoke.net

# 東海大相模センバツ出場

## 『全員野球で一戦必勝』　優勝候補の一角、2度目の優勝目指す

第82回選抜高校野球大会（日本高野連・毎日新聞社主催、朝日新聞社後援）の出場32校が1月29日に決まり、地元・東海大相模高校（門馬敬治監督）が選出された。同校の選抜出場は4年ぶり8度目。

東海大相模は今大会屈指の右腕として注目される一二三（ひふみ）慎太投手を柱に、10年ぶり2度目のセンバツ優勝を目指す。なお、組み合わせ抽選会は3月13日。大会は3月21日から12日間、阪神甲子園球場で開催される。

東海大相模は昨秋の県大会、関東大会で優勝、明治神宮大会で準優勝。秋の公式戦わずか1敗で、今大会の優勝候補の一角にあげられている。

エースで主将の一二三（ひふみ）慎太投手は〝第2の菊池雄星〟として、プロ球団やマスコミから注目の的。最速149㌔の直球と多彩な変化球を武器に、昨秋は14試合に登板し12完投。関東大会では2試合で完封勝利をあげた。センバツでは150㌔超えもあると、期待も大きい。また、関東大会で本塁打2本を放つなど、打者としてもチームを引っ張る存在だ。

同校野球部の田倉雅雄部長は、「一二三という大黒柱がいるが、一人で勝てる訳ではない。全員野球で一戦必勝。選手一人ひとりが全力で力を出し切れば、おのずと結果もついてくる。まずは初戦突破」と抱負を語る。同校野球部グラウンドのベンチの壁には、門馬監督の言葉が掲げられる。『アグレッシブベイスボール』『一の大切さ』『目配り気配り』など、目標や方針、選手に対する戒めなどの言葉がズラリ。「選抜出場が決まり、何をやらなければいけないか、何が大事なのかは、選手一人ひとりが自覚していると思います」と田倉部長は話した。

一二三主将も「初戦突破。全員野球で一戦必勝」と、センバツでのチーム目標を元気よく答える。投手としては「球速だけで抑えられる訳ではないので、変化球を有効に使って勝てるピッチングをしたい。全力を出し切ってチームの勝利に貢献したい」と話す。全国にはたくさんの強打者がいるので対戦が楽しみのようで、「個人的には天理高校（奈良県）の安田くん」と答えた。

東海大相模は過去7度のセンバツ出場で、優勝1回（72回）、準優勝2回（47、64回）の実績。『春の東海』と言われるほど、センバツでの活躍は目覚ましい。

今大会は優勝候補の一角として大注目！　一二三主将を中心に、縦じまのユニホームが2度目の優勝を狙う。ガンバレ東海！　みんなで応援しよう！

なお、相南3丁目の翠ヶ丘自治会館内に地元応援団事務所を開設（次号詳報）。

『アグレッシブベイスボール』を掲げ練習に取り組む東海大相模野球部

エースで主将の一二三慎太投手
最速149㌔の直球があり、
センバツでは150㌔超えが期待される

[2010年2月14日(日)発行]　あさのポケット　おださが・東林版　2月号　1部４０円（税込）

■あさポケ次号は3月14日(日)の発行です。

★あさポケとASAは、「SC相模原」を応援しています!

## ダチョウ肉のパン　商品化に取組む

地元相模原産のダチョウの肉で店の名物を作りたい…。東林間3丁目のパン屋さん『ボナペティ』の田代社長は、ダチョウの肉を使ったパンの商品化を検討中だ。すでに試作品として、ダチョウ肉を使ったカレーパンを作ったが、肉の特徴が生かし切れていないという。2月から3月にかけて様々な試作品を作り、4月頃に新商品として店頭に並べたい意向だ。

ダチョウの肉は、相模原市内唯一の「だちょう牧場」を経営する㈲スマイルオーストリッチという会社から仕入れる。同社のダチョウの肉は、すでに市内のレストランや割烹料理店などで使われているが、「パン屋さんではボナペティさんが初めて」とのこと。同社長の麓（ふもと）さんは「手頃な価格帯で販売できるパンに使ってもらえるのはありがたい。まだまだなじみの薄いダチョウの肉ですが、多くの方に食べてもらえるいい機会。商品化が楽しみ」。

田代社長は2月4日、打ち合わせのため、市内田名９８１４のだちょう牧場を訪ねた。ダチョウは鳥類最大種で、体長2㍍以上。長い首をのばし、愛嬌のある大きな目で出迎えた。「大きくて驚きましたが、意外と人に慣れているんですね」と田代社長。同牧場には現在30羽いるが、1羽から25～30㌔ほどの肉しかとれないので需要に十分対応できないそうだ。「将来は１００羽の規模し、市内で数ヵ所に牧場を展開したい。ダチョウ肉が相模原の名産になるまで頑張りたい」と麓さんは話した。

同牧場では肉の販売のほか、羽根や革を使った工芸品やアクセサリー、タマゴの殻を使った鉢植えなを商品化している。また、牧場見学（入場料５００円）や肉の小売り（100ｇ５５０円～７３０円）も行う。問い合わせは、㈲スマイルオーストリッチ☎０４２（７８０）０８４７へ。ブログ http://smileostrich.seesaa.net/

「ダチョウを名物に」というボナペティ田代社長（写真右）と麓さん

## 夢の対決　S.C.相模原が制す

### 2－0でドリームチームを撃破

元日本代表の藤田、名波とSCの鈴木（健）、坂井、吉岡

SC相模原VSジャパンドリームチームのイベントマッチが1月31日、麻溝公園競技場で行われ、SC相模原が2－0でドリームチームを下し、約８０００人の観衆の前で存在感をアピールした。

ドリームチームは名波浩、藤田俊哉、前園真聖、鈴木隆行、戸田和幸、名良橋晃など元日本代表やJリーガーで構成されるチーム。SCは20代の選手がほとんどで、運動量でドリームチームを上回り、前半からゲームを優位に進めた。SCは、疲れの見え始めたドリームチームから、後半35分と終了間際に得点し、夢の対決を制した。

## 「福」をつかみ取れ

### 節分祭　例年以上の賑わい

2月の風物詩、節分祭が3日、東林間神社と翠ヶ丘出雲神社で行われた。東林間では午後1時から3時まで5回の豆まきが、翠ヶ丘では2時半から3時半まで3回の豆まきがあり、福にあやかろうと、多くの人がつめかけた。東林間は約１７００人、翠ヶ丘は約５００人の人出。当たりクジ入りの福豆をつかみ、実用的な福（？）を持ち帰る人も多かった。

東林間神社の節分祭

翠ヶ丘出雲神社の節分祭